

記者発表資料  
平成19年8月31日  
財団法人 横浜企業経営支援財団  
事務局長 吉田 正博  
225-3705

# 財団法人 横浜企業経営支援財団 “金融機関と戦略的業務提携を締結！”

～三井住友銀行、横浜銀行と具体的な業務提携へ～

(財)横浜企業経営支援財団は、今年度から自主財源の確立による自主的・自立的な経営を目指し、横浜市内企業の経営を支援する唯一の公的支援機関として、民間専門機関や支援機関等とのネットワークを活用した事業を行っております。

このたび、3大メガバンクのひとつである「株式会社三井住友銀行」と、地元金融機関である「株式会社横浜銀行」から、財団のネットワークへの参加と、具体的に業務提携の申し入れがありました。

財団は、それぞれの金融機関のもつサービスやネットワークを活用した事業も可能となり、お互いの事業を補完しあうことができることから、積極的に両者と具体的な提携事業を検討してきた結果、本日合意に至り、覚書を締結いたしましたのでお知らせいたします。

今後、他の金融機関等とも提携をすすめ、ネットワークを活用した積極的な事業展開を進め、市内の中小企業から信頼される支援機関として活動してまいります。

今回の提携事業の詳細につきましては、別紙1・2をご覧ください。

## 【別紙 1】

### 株式会社三井住友銀行（S M B C）との主な業務提携内容

#### （1） 海外進出支援事業

S M B C は、日系企業の進出先第 1 位である中国では、広州市、蘇州市、杭州市にそれぞれ邦銀唯一の支店を有し、タイではバンコク市に邦銀で最初に支店を開設するなど、アジア地区において優れたネットワークを有しております。今後、財団や横浜市の海外事務所や他の連携機関とともにこのネットワークを活用し、横浜市内企業のグローバル化を推進していきます。

#### （2） ベンチャー支援事業

横浜企業経営支援財団の実施する「よこはまビジネスプラングランプリ」では、協力企業として従来から「S M B C 賞」の提供をしていただいております。今後も引き続き協力をいただき、新たなベンチャー企業支援の仕組み作りに協力をいただきます。

#### （3） 金融事業

横浜市及び財団の融資制度を補完することを目的として、S M B C と協働した新たな取り組みを検討していきます。

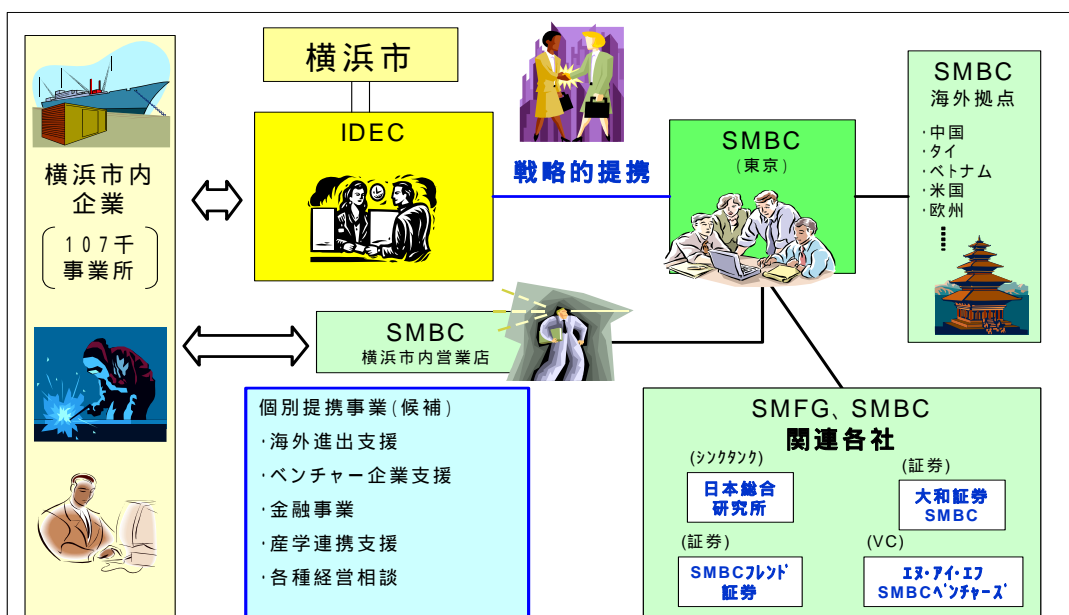
#### （4） 産学連携支援事業

財団の産学連携コーディネーターである、リエゾン・プロデューサーが中心となり、財団と S M B C の互いにもつネットワークの接点となることで、新たな支援の仕組みづくりを構築していきます。

#### （5） 経営相談事業

経営効率化、事業承継等、中小企業のもつ様々な経営課題に関する相談について、その解決に向けて S M B C 並びにグループ各社のソリューションを活用する仕組みを検討していきます。

### 横浜企業経営支援財団(IDECC)と三井住友銀行(SMBC)の提携概要図



## 【別紙 2】

### 株式会社横浜銀行との主な業務提携内容

(1) 金融支援業務への人的協力

財団の融資事業の実施にあたり、高度な専門性が必要であることから、財団へ金融実務経験者の派遣を行い、融資実務のノウハウを提供します。

(2) 横浜銀行が実施する国際交流事業への支援

横浜銀行が取引先を対象として実施する国際交流事業に対し、財団がそのノウハウを活かして支援を行います。具体的には、取引先の海外業務展開のために海外視察事業等を実施する場合において、財団は海外機関等、海外拠点及び人的ネットワークを介して事業のコーディネート等の支援を行います。

(3) 浜銀総合研究所による財団業務への支援

財団が実施する企業経営相談業務にて専門家の知見が必要な場合、財団から要請があった場合はその相談業務の対応を行います。

(4) 中小企業向け人材育成研修カリキュラムの共同開発

中小企業が単独では実施が困難な人材育成研修カリキュラムを、財団と横浜銀行グループにて共同開発を検討していきます。

横浜企業経営支援財団(IDEA)と横浜銀行の提携概要図

